



事務局報

2018年5月25日発行

発行／銀行業務検定協会・事務局 発行責任者／廣瀬 智人
〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03)3267-4821(代) ホームページ <http://www.kenteishiken.gr.jp/>

〈第139回〉銀行業務検定試験成績発表

投資信託3級、事業性評価3級が好成績

去る3月4日(日)に実施いたしました第139回銀行業務検定試験の成績結果がでましたので、ご参考までに発表いたします。

上記試験の成績に関する受験者および研修ご担当者の皆様へのご通知・ご報告は5月1日(火)までにすべての手続等を完了させております。

■ 財務3級

「財務3級」の成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数21,950名中受験者は18,541名で、合格者は7,851名でした。合格率は42.34%、平均点は54.43点で、ともに前回(2017年6月)を上回りました。

最高点は100点で、増島駿さん、熊倉亜実さん(以上、新潟会計ビジネス専門学校)、毛塚登さん、小林幹夫さん(以上、個人申込)の4名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-28〕

消費税等の決算整理仕訳、〔問-30〕が替差損益の額の算出の2問でした。

〔問-28〕は、消費税等の決算整理仕訳についての問題です。消費税等の仕訳に関する問題は過去にも出題されていますが、本問の場合は決算整理仕訳を税込方式で行うため、当期の確定納付額は租税公課で計上されることを理解していたかどうかポイントとなりました。

〔問-30〕は、為替差損益の額を算出する問題です。本問は、過去にも出題されていますが、前受金についての取扱いが初出となりました。前受金は、将来、財産またはサービスの提供を行う収益性負債で、金銭の支払を目的とした外貨建金銭債務ではなく、決算時の為替相場による換算替えは行わず、取引発生時に使用した為替相場による円換算額をその貸借対照表価額とするため、決算時の換算替えは不要となることを理解していたかがポイントとなりました。

本種目では、問題解説集に掲載されている過去問題で基本的な知識を確実に身に付けることはもちろん、応用的な出題にも対応できるよう学習することが期待されます。

■ 税務2級

「税務2級」の成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数8,386名中受験者は6,122名で、合格

主要項目

- ▶ 〈第139回〉銀行業務検定試験成績発表
- ▶ 都道府県別合格率ランキングのご紹介
- ▶ 団体賞受賞団体等一覧
- ▶ 団体賞受賞団体を訪ねて
- ▶ 〈第140回〉銀行業務検定試験
- ▶ 〈第44回〉コンプライアンス・オフィサー認定試験
応募状況
- ▶ 申込団体別応募状況
- ▶ 10月試験のご案内

者は1,404名でした。合格率は22.93%、平均点は41.92点で、前回（2017年3月）とほぼ同様の結果となっています。

最高点は98点で、川島淳美さん（きのくに信用金庫）、芦塚俊文さん（親和銀行）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

10題の問題のうち平均点が最も低かったものは、〔問題－6〕相続税額の2割加算の対象者と相続税の総額の計算で、3.00点でした。また、平均点が最も高かった問題は、〔問題－7〕遺産未分割の場合の扱いと納付相続税額の計算で、4.81点でした。

今回、〔質問1〕Iの択一問題の解答状況は全般的に良好でした。〔質問2〕の計算問題については、所得税分野、相続税・贈与税分野における税額計算方法、法人税分野の別表四を用いて所得金額を算出する一連の計算についての理解をしている受験者が前回に比べ少なく、所得税分野で

は、各種所得ごとに行う計算と総所得金額に合算する段階で行うべき計算、所得控除や税額控除の控除する段階を理解していない受験者、相続税分野では「課税価格の合計額の計算」「遺産総額の計算」「相続税の総額の計算」「各人の算出税額・納付税額の計算」のそれぞれの段階で行う計算方法を正確に理解していない受験者が多く見受けられました。

本種目で高得点をとるためには、税務3級の受験の際に学習した内容を基本知識として身に付けたいと、各税法分野における税額計算の方法を正確に把握しておくことが求められます。

税務3級

「税務3級」の成績結果は、〔表－3〕のとおりです。

応募者数20,076名中受験者は16,950名で、合格者は4,723名でした。合格率は27.86%、平均

〔表－1〕財務3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	702	6,095	1,047	2,426	5,561	958	758	69	250	14	333	3,737	21,950
応募比率	3.20	27.77	4.77	11.05	25.33	4.36	3.45	0.31	1.14	0.06	1.52	17.03	100.00
受験者数	677	5,372	805	2,064	4,859	803	683	58	175	10	275	2,760	18,541
受 験 率	96.44	88.14	76.89	85.08	87.38	83.82	90.11	84.06	70.00	71.43	82.58	73.86	84.47
合格者数	605	2,355	356	688	1,513	235	342	19	63	4	91	1,580	7,851
合 格 率	89.36	43.84	44.22	33.33	31.14	29.27	50.07	32.76	36.00	40.00	33.09	57.25	42.34
平 均 点	76.71	54.85	54.55	49.51	49.40	48.69	57.81	49.21	50.50	59.40	50.21	62.22	54.43
年 齢	24.1	26.4	30.7	27.8	28.4	30.5	33.3	28.8	29.3	26.9	39.9	29.7	28.4
勤続年数	0.5	3.3	6.9	4.7	5.7	7.6	10.0	5.8	4.9	0.1	16.1	6.8	5.2

〔表－2〕税務2級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	43	4,467	707	532	1,428	91	214	31	2	0	14	857	8,386
応募比率	0.51	53.27	8.43	6.34	17.03	1.09	2.55	0.37	0.02	0.00	0.17	10.22	100.00
受験者数	29	3,490	429	382	1,116	59	186	22	1	0	9	399	6,122
受 験 率	67.44	78.13	60.68	71.80	78.15	64.84	86.92	70.97	50.00	0.00	64.29	46.56	73.00
合格者数	10	784	117	79	167	8	60	6	0	0	6	167	1,404
合 格 率	34.48	22.46	27.27	20.68	14.96	13.56	32.26	27.27	0.00	0.00	66.67	41.85	22.93
平 均 点	45.76	42.04	42.24	39.78	37.41	37.47	48.73	38.14	42.00	0.00	60.11	52.14	41.92
年 齢	30.6	31.4	31.6	34.3	35.2	38.7	37.9	32.7	53.0	0.0	38.9	35.2	32.8
勤続年数	7.3	8.2	7.5	11.1	11.9	15.1	14.8	9.0	9.0	0.0	15.9	11.0	9.4

点は47.01点で、ともに前回(2017年10月)を下回りました。

最高点は100点で、茂木太一郎さん(個人申込)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%を下回った問題は、〈所得税〉分野では〔問-10〕譲渡費用に該当しないもの、〔問-12〕株式等の譲渡に係る所得の金額の計算、〔問-19〕所得税の税額控除に該当するもの、の3問。〈相続税・贈与税〉分野では〔問-22〕相続税額計算上の課税価格の合計額の計算、〔問-38〕暦年課税による贈与税額の計算、の2問の計5問で、〈法人税〉分野および〈その他の税金〉分野ではありませんでした。

本種目で頻出の問題について、条件等が過去問題と異なると得点できない受験者が多く見受けられました。各規定の内容や計算手順など、各問題を正答するために必要となる基本事項を自分なりに整理できていない受験者が多いようです。過去

問題の出題内容と合わせて、参考図書等により関連事項を確認することをお勧めします。

本種目の学習にあたっては、各税法分野を体系的に学習し、各規定の内容とともに税額計算の流れをしっかりと学習することが重要です。

税務4級

「税務4級」の成績結果は、〔表-4〕のとおりです。

応募者数2,646名中受験者は2,433名で、合格者は1,467名でした。合格率は60.30%、平均点は62.65点で、ともに前回を下回りました。

最高点は98点で、毛塚登さん(個人申込)が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈所得税〉分野では〔問-21〕給与所得金額の計算、〈相続税・贈与税〉分野では〔問-39〕住宅取得等資金の贈与に係る贈与税の非課税、〈法人税〉分野

〔表-3〕税務3級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	293	6,294	810	1,620	5,011	755	1,949	258	129	19	324	2,614	20,076
応募比率	1.46	31.35	4.03	8.07	24.96	3.76	9.71	1.29	0.64	0.09	1.61	13.02	100.00
受験者数	268	5,517	606	1,340	4,389	637	1,777	210	75	19	271	1,841	16,950
受験率	91.47	87.65	74.81	82.72	87.59	84.37	91.17	81.40	58.14	100.00	83.64	70.43	84.43
合格者数	135	1,608	247	302	876	117	496	56	34	6	105	741	4,723
合格率	50.37	29.15	40.76	22.54	19.96	18.37	27.91	26.67	45.33	31.58	38.75	40.25	27.86
平均点	57.52	47.76	53.17	44.79	43.24	41.51	47.03	45.30	55.09	50.63	52.00	52.75	47.01
年齢	25.9	26.3	28.0	28.3	28.8	30.9	32.3	27.9	33.2	30.3	39.0	30.4	28.7
勤続年数	2.1	3.3	3.7	5.4	6.1	8.0	8.7	3.8	6.9	7.3	14.5	6.4	5.4

〔表-4〕税務4級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	6	169	0	283	1,060	258	585	48	0	0	6	231	2,646
応募比率	0.23	6.39	0.00	10.70	40.06	9.75	22.11	1.81	0.00	0.00	0.23	8.73	100.00
受験者数	5	152	0	247	1,000	232	552	39	0	0	6	200	2,433
受験率	83.33	89.94	0.00	87.28	94.34	89.92	94.36	81.25	0.00	0.00	100.00	86.58	91.95
合格者数	4	88	0	114	675	112	291	26	0	0	3	154	1,467
合格率	80.00	57.89	0.00	46.15	67.50	48.28	52.72	66.67	0.00	0.00	50.00	77.00	60.30
平均点	66.00	61.17	0.00	58.40	64.84	58.58	60.40	67.13	0.00	0.00	59.67	68.09	62.65
年齢	29.4	25.6	0.0	24.1	25.2	25.1	26.8	29.9	0.0	0.0	50.2	31.6	26.1
勤続年数	0.5	2.8	0.0	1.6	2.8	2.9	3.4	2.8	0.0	0.0	33.0	8.5	3.2

では〔問－42〕棚卸資産の評価方法、の計3問でした。

今回、過去に出題されたことのある問題と同じテーマの問題であっても、選択肢がこれまでに問われたことのない内容であったり、切り口が違ったりすると、正解率が低くなる傾向がみられました。学習の際には、過去の問題の選択肢を覚えるのみではなく、参考図書等を活用して体系的に理解することが重要です。

外国為替2級

「外国為替2級」の成績結果は、〔表－5〕のとおりです。

応募者数1,455名中受験者は1,067名で、合格者は169名でした。合格率は15.84%、平均点は45.82点で、ともに前を下回りました。

最高点は78点で、寺口僚平さん（北國銀行）、松尾未央さん（個人申込）の2人が個人最優秀賞

を受賞されました。

今回の試験は、輸出為替関連の問題をはじめ、平均点が低い問題が多く、低調な試験結果となりました。

受験に向けての学習としては、過去に出題された問題の類似問題や応用問題が出題された際には、確実に得点を得ることができるよう、周辺知識を含めて、的確な理解をしておくことが重要です。そして同時に解答用紙に書き示す力を養うことも必要となります。日々の研鑽が望まれます。

外国為替3級

「外国為替3級」の成績結果は、〔表－6〕のとおりです。

応募者数4,348名中受験者は3,660名で、合格者は1,031名でした。合格率は28.17%、平均点は50.65点で、ともに前回（2017年10月）を下回りました。

〔表－5〕 外国為替2級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・銀 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	148	675	11	59	59	0	0	0	0	0	0	503	1,455
応募比率	10.17	46.39	0.76	4.05	4.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	34.57	100.00
受験者数	116	540	6	46	51	0	0	0	0	0	0	308	1,067
受 験 率	78.38	80.00	54.55	77.97	86.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	61.23	73.33
合格者数	24	72	0	3	11	0	0	0	0	0	0	59	169
合 格 率	20.69	13.33	0.00	6.52	21.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	19.16	15.84
平 均 点	48.42	44.30	39.83	42.65	43.59	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	48.46	45.82
年 齢	29.3	33.2	39.5	35.1	34.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.3	32.7
勤続年数	5.9	9.8	18.8	12.2	11.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	9.2

〔表－6〕 外国為替3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・銀 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	478	2,110	16	296	583	11	5	0	4	0	2	843	4,348
応募比率	10.99	48.53	0.37	6.81	13.41	0.25	0.11	0.00	0.09	0.00	0.05	19.39	100.00
受験者数	444	1,819	10	252	527	8	3	0	2	0	2	593	3,660
受 験 率	92.89	86.21	62.50	85.14	90.39	72.73	60.00	0.00	50.00	0.00	100.00	70.34	84.18
合格者数	195	483	6	33	97	3	1	0	0	0	1	212	1,031
合 格 率	43.92	26.55	60.00	13.10	18.41	37.50	33.33	0.00	0.00	0.00	50.00	35.75	28.17
平 均 点	56.95	49.77	53.00	47.56	46.74	52.50	40.67	0.00	53.00	0.00	53.00	53.43	50.65
年 齢	24.8	29.9	33.8	30.0	35.2	33.3	35.3	0.0	29.0	0.0	45.5	30.1	30.1
勤続年数	1.4	6.8	7.7	6.8	12.0	8.0	12.3	0.0	6.0	0.0	23.5	6.0	6.8

最高点は94点で、西端万希子さん（三井住友銀行GS推進部・GS部）、佐竹保男さん（個人申込）の2人が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-3〕外国為替の与信リスク、〔問-5〕犯罪収益移転防止法における通知義務、〔問-11〕外国向為替手形取引約定書、〔問-12〕安全保障貿易管理制度、〔問-15〕確認信用状にもとづく為替手形の買取り、〔問-19〕貿易保険、〔問-26〕保険書類の取扱い、〔問-31〕対顧客外国為替取引に適用される直物相場および先物相場、〔問-42〕居住者外貨預金および居住者海外預金、〔問-43〕インパクト・ローン（居住者外貨貸付）、〔問-44〕ニューヨーク市場とユーロ市場、〔問-50〕技術契約とロイヤリティ（使用料）、の12問でした。

前記の問題のなかには、過去の類似問題で角度を変えた応用問題もありましたが、予想よりも受験者の出来が不調でした。過去に出題された問題については、周辺知識を含めて、しっかりと理解しておくことが重要です。

■ 経営支援アドバイザー2級

「経営支援アドバイザー2級」の成績結果は、〔表-7〕のとおりです。

応募者数1,769名中受験者は1,382名で、合格者は472名でした。合格率は34.15%、平均点は54.16点で、ともに前を下回りました。

最高点は81点で、松井清則さん（北陸銀行）

が個人最優秀賞を受賞されました。

〈基本知識（択一式）〉において、正解率が30%以下となった問題は、〔問-8〕マーケティングの4C、〔問-18〕経営改善・経営革新に活用する制度、〔問-22〕経営者保証ガイドライン、〔問-23〕ABL（動産・債権担保融資）、の4問でした。択一式の平均点は28点台でした。高得点を目指すためには、択一式で確実に得点を重ねることがポイントです。過去の出題傾向をつかみ、理解を深めてください。

一方、〈技能・応用（記述式）〉においては、5題の平均点が5点台でしたが、〔問題-26〕生産性分析と業務改善、〔問題-30〕事業承継および廃業等を考慮した経営改善支援、の2題が5点以下の平均点となりました。〔問題-30〕は「事業承継ガイドライン」をもとにした問題でしたが、廃業を検討する際に活用できる制度等についてまで理解が及んでいなかったことが平均点が低かった要因と考えられます。中小企業・小規模企業者の経営者のうち、65歳以上は全体の6割を占め、今後、数年で多くの中小企業が事業承継のタイミングを迎えるとみられています。経営者との接点が多い金融機関の担当者には、当該ガイドラインを参考にした適切なアドバイスが期待されます。

本種目で取りあげている事例は、実務上においても直面する可能性が高い事例です。経営支援に絶対の“答え”がないことは自明のことですが、経営支援対象企業に対するアプローチ方法を理解するという観点から本種目の学習に取り組まれ、

〔表-7〕 経営支援アドバイザー2級・業態別成績一覧表 （合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	34	871	0	198	415	83	7	0	3	0	0	158	1,769
応募比率	1.92	49.24	0.00	11.19	23.46	4.69	0.40	0.00	0.17	0.00	0.00	8.93	100.00
受験者数	33	698	0	138	334	60	7	0	1	0	0	111	1,382
受 験 率	97.06	80.14	0.00	69.70	80.48	72.29	100.00	0.00	33.33	0.00	0.00	70.25	78.12
合格者数	18	298	0	36	58	11	4	0	0	0	0	47	472
合 格 率	54.55	42.69	0.00	26.09	17.37	18.33	57.14	0.00	0.00	0.00	0.00	42.34	34.15
平均点	61.79	56.75	0.00	51.75	48.82	48.77	59.71	0.00	56.00	0.00	0.00	57.17	54.16
年 齢	35.1	36.8	0.0	37.3	37.9	39.9	31.1	0.0	38.0	0.0	0.0	36.7	37.2
勤続年数	11.4	13.3	0.0	14.4	14.6	16.3	6.7	0.0	15.0	0.0	0.0	11.4	13.6

ここで得た知識を実践に活かされることを望みます。

融資管理3級

「融資管理3級」の成績結果は、〔表-8〕のとおりです。

応募者数3,381名中受験者は2,867名で、合格者は965名でした。合格率は33.66%、平均点は53.10点で、ともに前回は上回りました。

最高点は98点で、諸留直美さん（日本政策金融公庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈基本知識〉では〔問-29〕無税切捨て償却、〔問-30〕消費者契約法、の2問。〈技能・応用〉では〔問-37〕抵当権の効力、〔問-47〕債権譲渡に伴う抵当権の移転、〔問-49〕民事再生手続、の3問の計5問でした。この他、正解率が30%台前半となった問題として、〔問-8〕根抵当権の元本の

確定、〔問-40〕合併後の根抵当権の取扱い、等がありました。

とくに「抵当権・根抵当権の管理」に関する問題は、頻出のテーマですが、低調な成績となりました。学習にあたっては、過去問題に類題がありますので、問題解説集を活用して重要なポイントを押さえ、抵当権と根抵当権の違いを意識しつつ各論点について正確な知識を身に付けることが求められます。

年金アドバイザー2級

「年金アドバイザー2級」の成績結果は、〔表-9〕のとおりです。

応募者数2,174名中受験者は1,638名で、合格者は432名でした。合格率は26.37%、平均点は46.72点で、ともに前回は上回りました。

最高点は88点で、三沢典子さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

〔表-8〕 融資管理3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	89	1,367	7	369	631	148	191	41	8	0	5	525	3,381
応募比率	2.63	40.43	0.21	10.91	18.66	4.38	5.65	1.21	0.24	0.00	0.15	15.53	100.00
受験者数	81	1,188	6	312	554	127	175	27	6	0	3	388	2,867
受 験 率	91.01	86.91	85.71	84.55	87.80	85.81	91.62	65.85	75.00	0.00	60.00	73.90	84.80
合格者数	55	400	4	80	162	35	54	7	3	0	2	163	965
合 格 率	67.90	33.67	66.67	25.64	29.24	27.56	30.86	25.93	50.00	0.00	66.67	42.01	33.66
平均点	65.16	53.34	60.00	49.67	51.28	52.31	51.11	49.85	60.00	0.00	69.33	56.28	53.10
年 齢	32.1	32.2	36.2	35.5	36.2	36.6	39.5	36.6	34.7	0.0	43.0	37.3	34.7
勤続年数	9.3	8.9	16.0	12.4	12.9	13.4	15.1	12.8	5.6	0.0	21.0	11.2	11.0

〔表-9〕 年金アドバイザー2級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	9	189	25	46	159	33	140	26	2	0	42	1,503	2,174
応募比率	0.41	8.69	1.15	2.12	7.31	1.52	6.44	1.20	0.09	0.00	1.93	69.14	100.00
受験者数	7	129	16	32	129	30	120	16	0	0	32	1,127	1,638
受 験 率	77.78	68.25	64.00	69.57	81.13	90.91	85.71	61.54	0.00	0.00	76.19	74.98	75.34
合格者数	3	9	4	2	21	5	21	2	0	0	3	362	432
合 格 率	42.86	6.98	25.00	6.25	16.28	16.67	17.50	12.50	0.00	0.00	9.38	32.12	26.37
平均点	45.71	34.41	37.88	31.81	38.81	32.93	42.68	38.63	0.00	0.00	33.91	50.86	46.72
年 齢	39.7	42.8	45.9	42.7	43.8	39.7	37.9	43.1	0.0	0.0	41.9	48.6	46.5
勤続年数	14.6	17.7	20.6	18.2	15.8	18.0	14.9	17.0	0.0	0.0	19.0	17.0	16.9

平均点が3点以下となった問題はなく、全般的によく得点されていました。

最も低い平均点であったのは、〔問題－7〕遺族給付の3.02点でした。この問題は、(1)夫が死亡した場合に妻が受給できる年金の種類と受給できる理由、(2)遺族厚生年金の年金額、(3)有利な年金の受給方法とその理由から構成されています。

(1)および(3)は記述を求めるもので、とくに(1)は記述すべき事項が多いことから得点に結びつく答案が少ない傾向でした。(2)はいわゆる「300ヵ月みなし」での計算に気が付くか否かが重要なポイントで、気が付いていないものが目立ちました。

総括として、初めて出題する事項が若干あったものの、おおむねこれまでの出題傾向どおりとしたためか、前回、前々回試験に比べ良好な合格率となりました。受験者の方がよく学習をしておられることがわかります。学習を通じて身に付けた知識を、ぜひ活かしていただきたいと思います。

年金アドバイザー3級

「年金アドバイザー3級」の成績結果は、〔表－10〕のとおりです。

応募者数10,013名中受験者は8,298名で、合格者は3,181名でした。合格率は38.33%、平均点は51.37点で、ともに前回(2017年10月)を若干上回りました。

最高点は100点で、田中耕造さん(福岡銀行)、杉本裕さん、山田理恵さん、小出孝さん(以上、個人申込)の4名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－20〕65歳以上の在職老齢年金、〔問－30〕個人型確定拠出年金、〔問－36〕老齢厚生年金に加算される経過的加算、〔問－39〕経過的な繰上げ支給の老齢厚生年金の年金額、の4問でした。

〔問－20〕は、初めて出題するテーマであることから難度の高い問題であったといえます。

〔問－30〕は、定番のテーマではあるものの、初めて出題した選択肢が正解の選択肢であったことから、やや難度の高い問題であったといえます。

〔問－36〕は、毎回、同形式で出題しているテーマで、平均的な正解率であることが多いものであることから、やや意外な結果となりました。

〔問－39〕は、定番のテーマではあるものの正解率が低いことが多い問題で、今回もそのような結果となりました。

合格率が30%台半ばと標準的な結果で、正解率30%以下の問題が少なく、全体的にはよく学習されていると感じました。

年金アドバイザー4級

「年金アドバイザー4級」の成績結果は、〔表－11〕のとおりです。

応募者数1,656名中受験者は1,510名で、合格者は907名でした。合格率は60.07%、平均点は64.30点で、ともに前を下回りました。

最高点は100点で、木村理加さん(岐阜信用金庫)、登尾元紀さん(京都中央信用金庫)、松井公佑さん

〔表－10〕年金アドバイザー3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	45	1,189	17	232	1,642	504	1,636	130	55	0	1,992	2,571	10,013
応募比率	0.45	11.87	0.17	2.32	16.40	5.03	16.34	1.30	0.55	0.00	19.89	25.68	100.00
受験者数	38	982	11	185	1,437	429	1,467	95	38	0	1,696	1,920	8,298
受験率	84.44	82.59	64.71	79.74	87.52	85.12	89.67	73.08	69.09	0.00	85.14	74.68	82.87
合格者数	16	363	6	63	412	105	529	23	11	0	583	1,070	3,181
合格率	42.11	36.97	54.55	34.05	28.67	24.48	36.06	24.21	28.95	0.00	34.38	55.73	38.33
平均点	56.89	50.35	60.73	49.31	46.57	43.24	49.53	47.01	49.58	0.00	48.80	61.27	51.37
年齢	34.8	32.6	39.9	34.8	31.7	32.6	32.9	32.1	35.7	0.0	38.3	42.1	35.9
勤続年数	12.0	8.7	13.9	11.4	8.9	9.9	9.4	6.9	10.5	0.0	14.9	14.6	11.3

(播州信用金庫)、徳永実也美さん(兵庫南農業協同組合)、山本誠さん、鈴木和志さん(以上、個人申込)の6名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が40%以下となった問題は、〔問-10〕国民年金の任意加入被保険者、〔問-40〕老齢厚生年金の配偶者加給年金額、〔問-44〕遺族基礎年金、の3問でした。このうち〔問-10〕〔問-44〕は、正解率が40%に近いもので、まんべんなく得点されていたといえます。

年金アドバイザーとして、年金に関する幅広い知識を有していることは重要です。その意味では、大変良好な結果であったと思います。次のステップとして、さらに学習をして、3級・2級と上位試験にも挑戦をしていただきたいと思います。

投資信託2級

「投資信託2級」の成績結果は、〔表-12〕のとおりです。

応募者数919名中受験者は670名で、合格者は158名でした。合格率は23.58%、平均点は45.00点で、ともに前回は上回りました。

最高点は90点で、笠原大資さん(日本トラスティ・サービス信託銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

平均点が3点以下となった問題は、〔問題-3〕分散投資、〔問題-4〕投資信託の基準価額、の2題でした。

どちらの問題も過去に出題されており、実務に必要な考え方や理論に関する問題ですので、学習の際には問題解説集や参考図書などを活用して正確で確実な知識を習得することが望まれます。

一方、平均点が5点を越えた問題は、〔問題-1〕顧客への情報提供、〔問題-6〕NISAとつみたてNISA、〔問題-8〕追加型株式投資信託の換金等、の3題でした。

〔表-11〕年金アドバイザー4級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	3	129	1	57	594	164	456	20	5	3	13	211	1,656
応募比率	0.18	7.79	0.06	3.44	35.87	9.90	27.54	1.21	0.30	0.18	0.79	12.74	100.00
受験者数	2	117	1	46	549	161	416	17	5	3	12	181	1,510
受験率	66.67	90.70	100.00	80.70	92.42	98.17	91.23	85.00	100.00	100.00	92.31	85.78	91.18
合格者数	2	70	1	20	345	84	220	11	4	3	9	138	907
合格率	100.00	59.83	100.00	43.48	62.84	52.17	52.88	64.71	80.00	100.00	75.00	76.24	60.07
平均点	62.00	65.59	86.00	56.48	65.21	60.63	60.59	65.18	72.00	91.33	67.33	73.49	64.30
年齢	49.0	30.7	23.0	31.3	28.1	27.4	30.4	33.1	50.4	51.7	38.8	41.9	30.9
勤続年数	20.0	6.6	0.0	5.3	5.8	4.2	6.6	3.7	27.7	30.0	11.0	13.4	6.7

〔表-12〕投資信託2級・業態別成績一覧表

(合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	7	454	122	94	75	2	4	19	1	6	2	133	919
応募比率	0.76	49.40	13.28	10.23	8.16	0.22	0.44	2.07	0.11	0.65	0.22	14.47	100.00
受験者数	5	342	85	69	55	2	4	15	0	6	0	87	670
受験率	71.43	75.33	69.67	73.40	73.33	100.00	100.00	78.95	0.00	100.00	0.00	65.41	72.91
合格者数	1	70	33	8	10	1	3	1	0	3	0	28	158
合格率	20.00	20.47	38.82	11.59	18.18	50.00	75.00	6.67	0.00	50.00	0.00	32.18	23.58
平均点	47.00	44.05	53.08	39.80	37.93	51.00	67.75	33.07	0.00	57.50	0.00	49.34	45.00
年齢	32.6	36.5	37.0	37.5	37.9	37.0	33.0	33.1	0.0	33.7	0.0	34.1	36.3
勤続年数	5.3	13.1	11.3	14.4	14.8	9.5	9.7	8.3	0.0	9.8	0.0	9.8	12.6

投資信託3級

「投資信託3級」の成績結果は、〔表-13〕のとおりです。

応募者数4,525名中受験者は3,843名で、合格者は1,982名でした。合格率は51.57%、平均点は59.53点で、ともに前回は上回りました。

最高点は98点で、真野恭旨さん（中国銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-5〕外国投資信託の特徴・販売、〔問-50〕取引報告書の交付義務、の2問でした。〔問-50〕は、契約締結時交付書面の内容について照会があった場合の受付または回答の担当者に関する問題でしたが、販売担当者ではなく、検査、監査等を担当する部門が受付または回答を行います。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問-9〕販売会社の役割と特徴、〔問-14〕受益者の権利、〔問-23〕投信販売時の説明事項（手数料等）、〔問-

25〕契約締結前交付書面（目論見書）、〔問-26〕投信販売に係る資格、〔問-33〕投資信託の買付口数、〔問-48〕株式ファンド（アクティブ）、の7問でした。

頻出の問題は、出題形式などが変わっても正解できるように、周辺知識も含めて確実に身に付けておきたいところです。

相続アドバイザー2級

「相続アドバイザー2級」の成績結果は、〔表-14〕のとおりです。

応募者数2,420名中受験者は1,942名で、合格者は422名でした。合格率は21.73%、平均点は48.52点でした。

最高点は89点で、北村光司さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

〈四択択一式〉においては、正解率が30%以下となった問題は、〔問-7〕養子縁組の知識、〔問-

〔表-13〕投資信託3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	65	2,021	93	362	960	20	105	191	4	31	23	650	4,525
応募比率	1.44	44.66	2.06	8.00	21.22	0.44	2.32	4.22	0.09	0.69	0.51	14.36	100.00
受験者数	59	1,763	77	300	858	14	93	143	4	29	21	482	3,843
受験率	90.77	87.23	82.80	82.87	89.38	70.00	88.57	74.87	100.00	93.55	91.30	74.15	84.93
合格者数	37	1,005	59	118	357	6	45	58	2	23	14	258	1,982
合格率	62.71	57.01	76.62	39.33	41.61	42.86	48.39	40.56	50.00	79.31	66.67	53.53	51.57
平均点	64.14	61.47	68.99	54.71	56.10	54.86	56.69	55.94	58.00	72.76	67.81	60.10	59.53
年齢	30.3	29.8	33.5	32.0	34.2	34.4	37.9	34.0	39.3	37.1	43.9	35.4	32.2
勤続年数	4.4	6.4	8.9	9.0	11.6	10.4	14.0	8.9	12.5	4.7	18.7	10.4	8.7

〔表-14〕相続アドバイザー2級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	44	956	25	136	337	44	172	20	2	1	44	639	2,420
応募比率	1.82	39.50	1.03	5.62	13.93	1.82	7.11	0.83	0.08	0.04	1.82	26.40	100.00
受験者数	36	776	22	105	268	34	148	16	2	1	40	494	1,942
受験率	81.82	81.17	88.00	77.21	79.53	77.27	86.05	80.00	100.00	100.00	90.91	77.31	80.25
合格者数	13	137	12	12	43	3	30	1	2	0	7	162	422
合格率	36.11	17.65	54.55	11.43	16.04	8.82	20.27	6.25	100.00	0.00	17.50	32.79	21.73
平均点	55.42	46.57	59.95	45.38	46.34	43.24	48.67	43.63	78.50	23.00	48.45	52.83	48.52
年齢	42.6	41.6	38.7	42.0	43.8	42.3	42.0	45.5	45.0	25.0	42.9	44.7	42.8
勤続年数	18.0	18.3	15.1	19.1	19.9	18.4	18.2	22.9	21.5	2.0	18.8	16.4	18.2

－ 14) 農地の納税猶予の特例の2問でした。

〔問－7〕は、3級試験においてよく出題されるテーマですので、意外な結果でした。

〔問－14〕は、都市部においては農地が少ないため、出題される可能性が低いと考え、学習する際に他の分野に注力してしまったことが推測されます。

また、〈記述式〉においては、〔問題－27〕特別受益・寄与分、〔問題－29〕生命保険の活用、〔問題－30〕相続税の総額の計算の3題の平均点が5点を下回りました。

〔問題－27〕は、やはり3級試験においても出題されるテーマではあるものの、実際に計算が伴うため、正解に辿りつけていない答案が散見されました。

〔問題－29〕は、長期平準定期保険の知識を問う問題でしたが、若干知識不足の面が見受けられました。

〔問題－30〕も、3級試験においてはよく出題されているパターンの問題ではありますが、実際に計算するととまどう傾向が見てとれました。

そのようななか、〔問題－28〕の遺言代用信託の活用によるアドバイスについては、出題したことがないテーマであるにもかかわらず、よく理解されている答案が見られました。

全般的に、四択一式の問題は安定して得点できていましたので、記述式の問題をいかに得点できるかが合否を分けているともいえます。3級試験の受験で学んだことを忘れずに、理解度を高め

ていただきたいと思います。

相続アドバイザー3級

「相続アドバイザー3級」の成績結果は、〔表－15〕のとおりです。

応募者数8,820名中受験者は7,473名で、合格者は2,924名でした。合格率は39.13%、平均点は53.46点で、前回(2018年10月)に比べて、合格率は6.97ポイント下回り、平均点は3.43点下回りました。

最高点は96点で、小森俊明さん(紀州農業協同組合)、利田裕子さん(大分県農業協同組合)の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈相続の基礎知識〉分野において〔問－1〕相続手続きの流れ、〔問－11〕相続税における課税・非課税の取扱い、〔問－13〕小規模宅地等の評価減特例、〈その他周辺知識〉分野において〔問－39〕成年後見制度、〈事例〉分野において〔問－45〕遺留分の算定、の5問でした。

前回に比べると少々低めの結果となりました。基礎を踏まえたうえでもう一步踏み込んだ問いかけをしていた問題があったこと、税金関係の問題が若干低めになったことなどがその原因のようです。問題解説集をベースとして出題傾向をつかむ学習をすることも大切ですが、参考図書・通信講座等でフォローを行っていくことで、もう一段のレベルアップが図れます。

合格に今一步及ばなかった方も、相続知識のさ

〔表－15〕 相続アドバイザー3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	111	2,008	59	261	1,248	170	1,441	98	13	29	1,374	2,008	8,820
応募比率	1.26	22.77	0.67	2.96	14.15	1.93	16.34	1.11	0.15	0.33	15.58	22.77	100.00
受験者数	98	1,685	53	226	1,104	150	1,310	84	8	29	1,201	1,525	7,473
受 験 率	88.29	83.91	89.83	86.59	88.46	88.24	90.91	85.71	61.54	100.00	87.41	75.95	84.73
合格者数	45	679	39	77	406	47	431	22	2	9	490	677	2,924
合 格 率	45.92	40.30	73.58	34.07	36.78	31.33	32.90	26.19	25.00	31.03	40.80	44.39	39.13
平均点	56.73	54.05	66.68	51.47	52.31	49.47	50.53	50.02	49.25	48.83	53.84	56.15	53.46
年 齢	35.5	35.8	39.8	35.0	36.7	33.9	37.3	35.6	48.5	39.0	39.9	39.8	37.7
勤続年数	11.0	12.3	15.9	11.8	14.3	10.4	14.0	8.8	22.0	17.5	15.7	14.6	13.7

らなる吸収と苦手分野の克服に向けて、努力を続けてください。

■ 事業性評価3級

「事業性評価3級」の成績結果は、〔表-16〕のとおりです。

応募者数 6,217 名中受験者は 5,605 名で、合格者は 3,625 名でした。合格率は 64.67%、平均点は 62.37 点で、ともに前回（2017 年 10 月）を上回りました。

最高点は 90 点で、望月健太郎さん（静岡銀行）、中村和晃さん（静清信用金庫）、直本和之さん（伊予銀行）の 3 名が個人最優秀賞を受賞されました。

〈基本知識〉で正解率が 30% 以下となった問題は、〔問-2〕事業性評価の理解、〔問-11〕中小企業白書、〔問-17〕決算書から読み取る取引先の強み、〔問-33〕地域経済活性化支援機構（REVIC）の特定支援、〔問-37〕中小企業支援に活かす法律や施策、〔問-48〕事業再生期の企

業へのアドバイス、の 6 問でした。

一方、正解率が 80% を超えた問題は、〔問-1〕金融庁の行政方針の理解、〔問-3〕地域・中小金融機関の事業性評価に対する取組み態勢について、〔問-5〕監督指針におけるコンサルティング機能の発揮、〔問-9〕取引先支援、〔問-10〕知的財産と知的資産経営、〔問-19〕業種の特性とバランス・スコアカード、〔問-27〕地方創生、〔問-30〕動産担保の活用、〔問-32〕経営者保証に関するガイドライン、〔問-36〕モニタリングのあり方、〔問-38〕転・廃業支援、〔問-40〕平成 28 事務年度金融レポート、〔問-46〕ロカベンによる指標の算出、の 13 問でした。

事業性評価は、金融機関が融資をする際に取引先企業の担保・保証に過度に依存することなく、取引先の本業と向き合い事業性を注視して融資につなげる取組みです。事業性評価の基本となる考えを身に付け、日々の渉外活動に活かしていただければ幸いです。

〔表-16〕 事業性評価3級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	198	1,847	2	521	2,687	411	154	2	3	1	5	386	6,217
応募比率	3.18	29.71	0.03	8.38	43.22	6.61	2.48	0.03	0.05	0.02	0.08	6.21	100.00
受験者数	185	1,648	1	459	2,455	380	146	2	3	1	5	320	5,605
受験率	93.43	89.23	50.00	88.10	91.37	92.46	94.81	100.00	100.00	100.00	100.00	82.90	90.16
合格者数	172	1,276	1	257	1,435	162	90	2	2	0	2	226	3,625
合格率	92.97	77.43	100.00	55.99	58.45	42.63	61.64	100.00	66.67	0.00	40.00	70.63	64.67
平均点	70.86	65.56	72.00	60.48	60.69	56.92	61.04	65.00	62.00	52.00	56.80	63.79	62.37
年齢	31.1	34.1	49.0	35.5	37.7	37.5	42.4	43.0	41.3	45.0	42.0	38.2	36.4
勤続年数	7.8	11.0	0.0	12.5	14.6	14.0	19.1	10.0	8.0	0.0	13.8	13.4	13.1

銀行業務検定試験「事業性評価3級」 2018 年度追加実施のご案内

弊会では、2018 年度においては 6 月および 10 月実施といたしましたのでご案内申しあげます（下表参照）。

人事研修ご担当者の皆様方におかれましては、本試験の受験機会増加につき有効にご活用賜りたく、お願いかたがたご案内申しあげます。

実施日	試験時間	備考
第 140 回 2018 年 6 月 3 日（日）	10：00～12：30	通常実施（2018 年度）
第 141 回 2018 年 10 月 28 日（日）	10：00～12：30	●特別実施（2018 年度）